

第四表 年 業 繼 日 數 調

日 年 別	同 業 繼		同 業 繼		同 業 繼		計
	件 數	人 員	件 數	人 員	件 數	人 員	
一 日							
二 日	二	三六			一	一〇〇	三 一三六
三 日					四	二七	四 七七
四 日	一	七四			一	一三	二 八七
五 日 以 上					七	一三〇	七 一三〇
十 日 以 下					三	二四〇	六 五六〇
十 日 以 上	二	一五九	一	一六一	三	二四〇	六 五六〇
合 計	五	二六九	一	一六一	一六	一七五〇	二二 三、一八〇

第二 労働團體の情勢

最近ニ於ケル部下労働団体ノ情勢ハ表面若シク活動ナク多クハ内面的活動即チ組織上ニ用スルモノ又ハ直接労働問題ニ関セサル運動ニ没頭スルノ風ナリ蓋シ事業界ノ不況ハ多クノ失業労働者ヲ輩出スヘキ状態ニアルガ故ニ労働者ニ於テモ従ラニ抗争スルノ不測ナルヲ悟リタルモノ、如ク従リテ僞平議ノ醸成ナル、コトアリトスルモ従来ノ如ク気勢ヲ張ルコトナリ概シテ積極ノ態度ニ出ワル等特ニ注意ヲ要スルモノ點シテトモ其一面ニ於テハ労働者ノ解放上労働条件ノ維持改善ノコトヲ進ンテ自ら社会組織ノ改造ニ果シテモ亦労働者自身責任ニ當ラサルヘカラストナレ若ク其方針ヲ樹立セントスル、状況ニテトモ其社会組織ノ改造ニ果